



# 防災組合ニュース

THE BOSAI KUMIAI NEWS

日本防災設備協同組合 ●東京都文京区本郷一丁目15番6号 電 03-3813-9650(代)

URL <http://nichibou.main.jp/>

事務連絡 nichiboukyou1@io.ocn.ne.jp  
営業連絡 nichiboukyou2@dune.ocn.ne.jp

## 社内回覧

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

### 1 月度理事会の概要

◎ 理事長挨拶	.....	1
◎ 各担当理事の業務報告	.....	1
◎ 議案の審議結果	.....	3

### 情 報

◎ 住宅用火災警報器（移報出力付）等と住宅用光警報装置の インターフェースに係る自主基準制定について （社）日本火災報知機工業会・日報本第28号	.....	5～7
--	-------	-----

### 事務局だより

・ 太陽光発電システムキャンペーン	.....	8～9
・ 組合員情報	.....	8
・ 共済制度について	.....	8
・ ご注文は今後もFAXで	.....	8

## 1 月度理事会概要

開催日時 平成24年1月19日(木)13時00～14時30分  
開催場所 東京ガーデンパレス3階会議室  
出席役員数 9人

### (1) 理事長挨拶

皆様、新年明けましておめでとうございます。  
この後、新年賀詞交歓会が3時から予定されています。  
それでは、只今から監事各位同席にて1月度理事会を開催します。  
宜しく申し上げます。

### (2) 12月度理事会議事録、及び1月度業務報告の確認。

### (3) 業務報告

#### ① 事務局運営・渉外

・組合員情報：代表者変更

(有) エス・イー・シー 入江日出夫→石毛秩子

(株) 旭日産業 菊村正次 →近藤喜樹

・今後の予定：

1月27日(金) 防災かながわ協同組合(ワークピア横浜)

・・・広江専務理事

2月2日(木) 防排煙設備検討委員会(文京シビックセンター)

2月16日(木) 2月度理事会(文京シビックセンター)

5月24日(木) 組合通常総会

#### ② 広報・防災組合ニュース

・「防災組合ニュース」12月10日号発行。

#### ③ 教育

・防排煙設備実務講習会、第3類受験準備講習会について、  
講師と日程調整中(第4四半期)。

④ 福利厚生・企画

- ・忘年ボウリング大会収支報告（承認）
- ・新年賀詞交歓会参加予定者報告。

⑤ 財務

- ・現在、資金繰りは特に問題はないものの、12月度収支は依然厳しい状況である。このままで推移した場合2年連続赤字決算の可能性がある。
- ・先月理事会で承認された基準に基づき共同購買事業の仕入の見直しを行っている。この成果を期待する。

⑥ 共同購買・共同受注

- ・財務担当が報告した通り、厳しい状況にある。12月は多少持ち直したが今後とも厳しい状況が予想される、引き続き各位のご協力をお願いします。
- ・共同購買に関して仕入れ先と交渉を進めている（中間報告）。

⑦ 開発

- ・非常放送設備点検器を試作。近々、放送設備実機にてテスト中。

⑧ 研究部会・ビジネス交流会

- ・各支部の要望を汲み取りながら計画を立てる。

⑨ ネット推進委員会

- ・組合ホームページを活用して組合の連絡業務・広報活動のペーパーレス化による経費削減を目指して作業中である。
- ホームページの全面改定オープンは4月の予定。

⑩ 防排煙設備検討委員会

- ・第4四半期に実務教育の実施を検討している。
- ・「防排煙設備実務必携Ⅱ」の検討中であり、次回は2月2日（木）の予定。

⑪ 青年部

- ・本日の新年賀詞交歓会に多くのメンバーが積極的に参画してい

- る。また、2月3日青年部新年会を予定している。  
・現在、会員数18社。

⑫ 支部運営促進

- ・12月15日、第2回正副支部長理事合同会議を行った。

⑬ その他の事業

- ・予定通り、団体損害賠償責任保険の更新手続きを進めている。

(4) 議案の審議

第1号議案 組合新規加入申込について

(株)アシスト・・・承認。

第2号議案 共同購買事業規約変更について

仕入先、価格の見直しに関する事項・・・承認。

本件は5月の通常総会における議案とする。

第3号議案 諸行事について

① 平成23年度会計監査予定 4月23日(月)

② 第45回通常総会 5月24日(木)

場所 東京ガーデンパレス

(5) その他：次回理事会

2月16日(木) 午後2時30分～4時30分

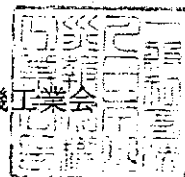
場所 文京シビックセンター・5階B会議室

## 平成24年1月度業務報告

・月 日 (曜)	・内 容 等	・来局理事等
12月15日 (木)	12月度理事会 (文京シビックセンター5階C会議室) 正副理事長・理事合同会議 (同上) 忘年ボウリング大会 (高田馬場 BIG BOX・清龍)	
12月26日 (月)	業務決裁	・・・ 広江専務理事
12月27日 (火)	業務決裁 営業会議 (組合事務所にて)	・・・ 藤岡副理事長 ・・・ 岡副理事長・仲谷理事・ 磯部理事・岡野次長・水落係長
12月28日 (水)	組合事務所仕事納め	
平成24年1月5日 (水)	組合事務所仕事始め 防災組合ニュース発行 業務決裁	・・・ 広江専務理事
1月 6日 (金)	業務決裁 東京消防出初式 (東京ビックサイト)	・・・ 藤岡副理事長 (会社にて) ・・・ 松原写真部部長
	東京都中小企業団体新年賀詞交歓会 (目黒雅叙園)	・・・ 渡辺事務局長
	全国消防機器協会新年名刺交換会 (明治記念館)	・・・ 荻理事長、渡辺事務局長
1月12日 (水)	営業会議 (組合事務所にて)	・・・ 仲谷理事・岡野次長・ 水落係長
1月13日 (金)	経理指導 神奈川県防災消防協同組合新年賀詞交歓会 (ワークピア横浜)	・・・ 小出会計事務所 ・・・ 藤岡副理事長
1月16日 (月)	三役関連団体新年挨拶回り	・・・ 荻理事長、 千葉副理事長、藤岡副理事長、広江専務理事、渡辺事務局長
1月19日 (木)	1月度理事会兼役員会 (東京ガーデンパレス) 業務決裁 平成24年新年賀詞交歓会 (東京ガーデンパレス)	・・・ 藤岡副理事長

会員各位

一般社団法人 日本火災報知機工業会



### 住宅用火災警報器（移報出力付）等と住宅用光警報装置間の インターフェースに係る自主基準制定について

標記の件、当工業会の技術委員会で住宅用火災警報器出力と光警報装置間の電氣的、機械的仕様の統一要件を検討して参りました。

その結果、技術的統一要件を当工業会の技術基準（自主基準）として定め、運用して行くこととしました。

この件につきまして、貴社の関係者にお知らせ頂きますようお願い申し上げます。

#### 記

#### 1. 自主基準制定の目的

ユニバーサルデザイン等の観点を取り入れた火災警報設備等の開発・普及を促進することを目的に、会員各社が製造する住宅用火災警報器（移報出力付）と住宅用光警報装置間とのインターフェース仕様の統一を図ったものです。

#### 2. 技術基準

電氣的要求仕様、端子名称・端子記号、適用電線の3項目について工業会の自主基準として仕様を統一しました。

別紙『住宅用火災警報器（移報出力付）等と住宅用光警報装置間のインターフェースに係る技術基準（日火基1101）』を参照願います。

以上

# 住宅用火災警報器（移報出力付）等と住宅用光警報装置間の インターフェースに係る技術基準

## （目 的）

第1条 この基準は、ユニバーサルデザインを踏まえた住宅用火災警報設備等の導入・普及を促進するため、住宅用火災警報器（移報出力付）等と住宅用光警報装置間のインターフェース仕様を統一することを目的とする。

## （適用範囲）

第2条 一般社団法人日本火災報知機工業会（以下「工業会」という。）会員各社が製造する住宅用火災警報器（移報出力付）等と住宅用光警報装置に適用する。

## （インターフェース統一仕様）

第3条 この基準において統一した仕様は次のとおりとし、数値等は「別表1」に示す。

- (1) 電氣的要求仕様
- (2) 端子名称・端子記号
- (3) 適用電線

## （情報の開示）

第4条 工業会は本基準を開示する。

## （基準の改廃）

第5条 この基準の改正又は廃止は、技術委員会で検討し理事会に報告する。

## 付 則

1. この基準は、平成24年4月1日から適用する。
2. 既発売商品への適用はこの限りではない。
3. 会員各社は本基準の趣旨を尊重し、統一化に努めることとする。

## （経 緯）

平成22年度、消防庁として高齢化や障がい者の社会参加の進展等を踏まえ、高齢者や障がい者等が安心して生活を営み、社会参加することができるよう火災に対する安全性を効果的に確保するため、ユニバーサルデザイン等の観点を取り入れた火災警報設備等の開発・普及を促進することを目的として、「聴覚障がい者に対応した火災警報設備等のあり方に関する検討会」を開催している。

その検討会において住宅用火災警報器等についてインターフェース仕様の規格統一化の要望があり、検討を行い基準化したものである。

別表 1

住宅用火災警報器(移報出力付)等-住宅用火災警報装置間のインターフェース仕様

		住宅用火災警報器等	住宅用火災警報装置
構成		<p>住宅用火災警報器等</p>	<p>住宅用火災警報装置</p>
電気的 要求仕様	極性	無極性 無電圧 a 接点出力	F1: プラス F2: マイナス
	電圧	負荷電圧 DC30V以上	出力電圧範囲 DC2.4V~28V
	電流	負荷電流 100mA以上	出力電流範囲 80mA以下
	許容抵抗	5Ω以下(接点抵抗)	外部配線抵抗10Ω以上
端子名称		警報出力	警報入力
端子記号		F1,F2	F1,F2
適用電線		φ0.65~0.9 単線 または 0.3~0.75mm <sup>2</sup> より線を推奨	
その他		・原則として接続形態は1対1(住警器):(警報装置)とする (1対1以外の接続については製造会社間の調整による)	

※ 機械的仕様(コネクタ、端子等の構造)については規定しない

※ 住宅用火災警報器等にはアダプタ等を含む



## 事務局だより

### ◎ 太陽光発電システム（次頁参照）のご紹介について

話題の太陽光発電設備を組合員自宅や知人宅で設置したいという場合、当組合事務局へご連絡ください。当組合の取引先であるミツワ電機株式会社エネルギー推進部をご紹介します。

設備設置希望者とミツワ電機株式会社とで直接取引（打合せ）となります。納入、施工、助成金の申請書類の作成、請求など全てミツワ電機株式会社にて行います。

尚、ミツワ電機との打合せには住宅の図面が必要となります。図面での見積もり後でないとい現地調査にはいけませんので、ご了承ください。築年数、屋根の素材、方角がわかる図面のご用意をお願い致します。

### ◎ 組合員情報

- 代表者変更： (有) エス・イー・シー  
入江日出夫 → 石毛秩子
- (株) 旭日産業  
菊村正次 → 近藤喜樹

### ◎ 共済制度について

#### ●消防設備保守・点検・設置工事等の賠償責任保険：

三井住友海上火災保険株式会社（代理店・株式会社サンリビング）と提携しています。請負業者賠償責任保険・生産物（完成工事）賠償責任保険・受託者賠償責任保険がセットになった総合型の保険です。

#### ●自動車共済制度：

関東自動車共済共同組合と提携しています。

#### ●団体傷害補償制度：

三井住友海上火災保険株式会社（代理店・株式会社サンリビング）と提携しています。

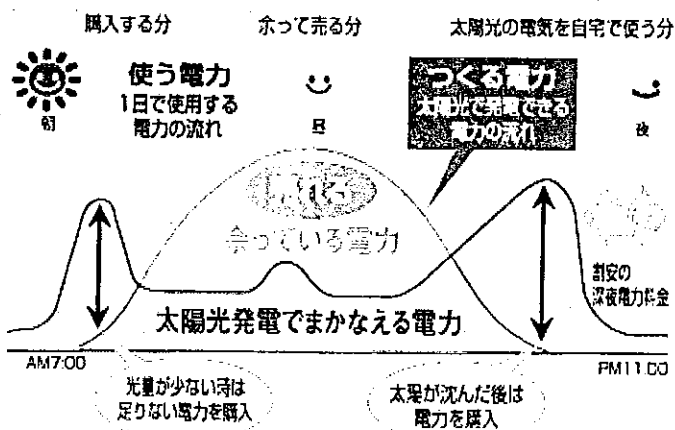
### ◎ ご注文は今後も FAX でお願いします。

組合員の皆様には、いつも FAX でご注文をいただき誠にありがとうございます。ご注文の商品名・数量等間違いのない納品をさせて頂くために、ご注文は今後とも FAX でお願いいたします。

# 太陽光発電システム ご紹介キャンペーン



発電して使っても余った電力は売ることができます!



住宅ローンに付いては何か?



太陽光発電システムの設置費用の一部を

**国が補助金でバックアップ**

さらに地方自治体からの補助金援助も!!

※地域により条件や補助金がない場合もございます。

2009年11月1日 新買取制度開始!

**電力会社による余剰電力買取!!**

※ご家庭で作られた電力のうち、自宅で余った電力を、電力会社へ売ることが出来る制度です。

メーカーによる  
製品保証

提携施工業者による  
施工補償10年  
(任意・有償)

最長15年の  
ソーラーローン

SUNTECH

SOLAR  
FRONTIER

TOSHIBA

Panasonic

SHARP

【お問合せ窓口】

日本防災設備協同組合

TEL 03-3813-9650

FAX 03-3813-9460

(施工・販売協力店)

ミツワ電機株式会社